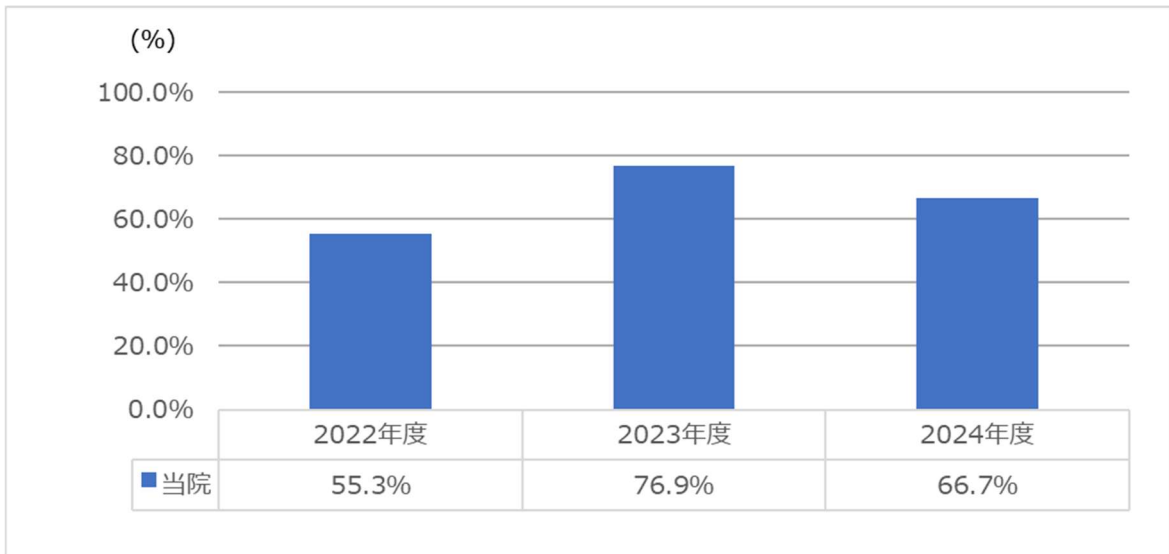


指標25 胃癌に対する腹腔鏡下切除術率



< 定義 >

分子	：	分母のうち、下記別表2に示す手術を実施した症例数
分母	：	消化器外科における胃の悪性腫瘍の症例数
期間	：	2022 年度～2024 年度(1年毎に集計)
対象	：	上記期間の退院患者

別表2

番号	Kコード	枝番	手術名1	手術名2
1	K655-2	2	腹腔鏡下胃切除術	悪性腫瘍手術
2	K655-5	2	腹腔鏡下噴門側胃切除術	悪性腫瘍切除術

< 解説 >

当院では、胃がんの患者さん個々に合わせて根治性(癌を治す)と安全性を最優先に考えた治療を提供しています。低侵襲性(身体への負担が少ない)である腹腔鏡手術はガイドラインに則して胃全摘術、噴門側胃切除術、幽門側胃切除術などあらゆる術式に対応しています。また最近では、さらなる精緻な手術を目指し、最新の手術支援ロボットダヴィンチによるロボット手術に移行してきています。胃腫瘍に対する内視鏡的吻合手術(LECS)による腹腔鏡下胃部分切除術も行っています。

※ 本データは当院で収集したデータを基に作成しています。